



本草

子

五

甲子年



今古奇談新草卷之五附錄



少年此餘瀝

性青條之桑也小丹波屋理唐との有徳なる
町人ありきやて知通方是なりとて在重浪の
備ふふん強く人を憐の情を多人のかりひ
たり排先の損失とある事ある人より格別
きびく憐れし多量と押して後を多量と
は後更におづし和りも様とする事あり
よと親族家来ふ合方とよと向うけきへに
身は身より強し多量と人より多量と

八翁草

中より中より人の中より中より中より
養能風流はるく唯ほろりや耽り樂む
如ふ強敵の何よりと右き多量の情あり
しと身と多量とつと丹波屋ありと餘程の
かりと多ける多量と人より多量と多量と
よりより多量と多量と多量と多量と
とと石は合れとつと入用捨小郎とつとと
を理を兼ハ例のつと多量と多量と多量と
は多量と多量と多量と多量と多量と多量と
して多量と多量と多量と多量と多量と多量と

けの道後を論ずるると合ると收びるの叫
 伽あやとさひつとさて先や客とのつとさてりか乃
 得えるれえのさくおりのつとさてりか乃
 屋とつとさてりか乃のつとさてりか乃
 りつとさてりか乃のつとさてりか乃
 おれ奇き業ねとさてりか乃のつとさてりか乃
 りつとさてりか乃のつとさてりか乃
 余よ程ほどとさてりか乃のつとさてりか乃
 久くとさてりか乃のつとさてりか乃
 くれとさてりか乃のつとさてりか乃

五ノ二

仍令とらへ同ぐ麻^{アサ}（年十^{アサ}）
 船^{ふね}はわてすめり^{アサ}南^{ミナミ}耐^タふとけり^{アサ}年^{アサ}産^{アサ}子^{アサ}はな
 き^{アサ}思^{アサ}事^{アサ}か^{アサ}る^{アサ}う^{アサ}り^{アサ}と^{アサ}ち^{アサ}び^{アサ}る^{アサ}星^{アサ}宿^{アサ}二^{アサ}の^{アサ}大^{アサ}振^{アサ}袖^{アサ}
 は^{アサ}黄^{アサ}天^{アサ}福^{アサ}城^{アサ}の^{アサ}幅^{アサ}廣^{アサ}に^{アサ}帯^{アサ}に^{アサ}小^{アサ}振^{アサ}振^{アサ}つ^{アサ}く
 振^{アサ}と^{アサ}手^{アサ}一^{アサ}思^{アサ}ふ^{アサ}と^{アサ}様^{アサ}振^{アサ}理^{アサ}氣^{アサ}が^{アサ}係^{アサ}小^{アサ}振^{アサ}り
 体^{アサ}居^{アサ}る^{アサ}瓜^{アサ}理^{アサ}氣^{アサ}居^{アサ}り^{アサ}と^{アサ}男^{アサ}色^{アサ}ぬ^{アサ}る^{アサ}と^{アサ}び^{アサ}只^{アサ}の^{アサ}
 り^{アサ}と^{アサ}桑^{アサ}り^{アサ}に^{アサ}敷^{アサ}言^{アサ}は^{アサ}又^{アサ}と^{アサ}と^{アサ}り^{アサ}成^{アサ}り^{アサ}か^{アサ}人^{アサ}
 俄^{アサ}は^{アサ}腋^{アサ}痛^{アサ}の^{アサ}氣^{アサ}色^{アサ}と^{アサ}ち^{アサ}の^{アサ}懐^{アサ}中^{アサ}用^{アサ}と^{アサ}れ^{アサ}葉^{アサ}と
 ら^{アサ}り^{アサ}ぬ^{アサ}年^{アサ}命^{アサ}さ^{アサ}り^{アサ}に^{アサ}お^{アサ}合^{アサ}せ^{アサ}れ^{アサ}葉^{アサ}と^{アサ}ち^{アサ}の^{アサ}び^{アサ}と^{アサ}
 下^{アサ}と^{アサ}れ^{アサ}と^{アサ}葉^{アサ}と^{アサ}り^{アサ}と^{アサ}理^{アサ}氣^{アサ}に^{アサ}む^{アサ}り^{アサ}お^{アサ}と^{アサ}あ^{アサ}と^{アサ}で^{アサ}



抄る紙圓でかりくそをばはきそをうりし人を
見るゆゑにそのふまゝにせん海分人を裏の垣と
破つて物々疎あつ理氣がき病邪氣揚指懐中
より鼻紙へのまきふそをうりまをわぬ板に望紙
姑わいづも不怪くそを面圓く菜屋とそを抜と
かりくそを宿ふ破るそを後書具屋に初六へそ
なるやうにせんわぬ右宿頼りしそを照るを
おろけるあて足元の理氣がきふまゝに照る
そをばふまゝに丹波屋に持来すそをの菜
屋にかりくそをばふそをばふそをかりくそ

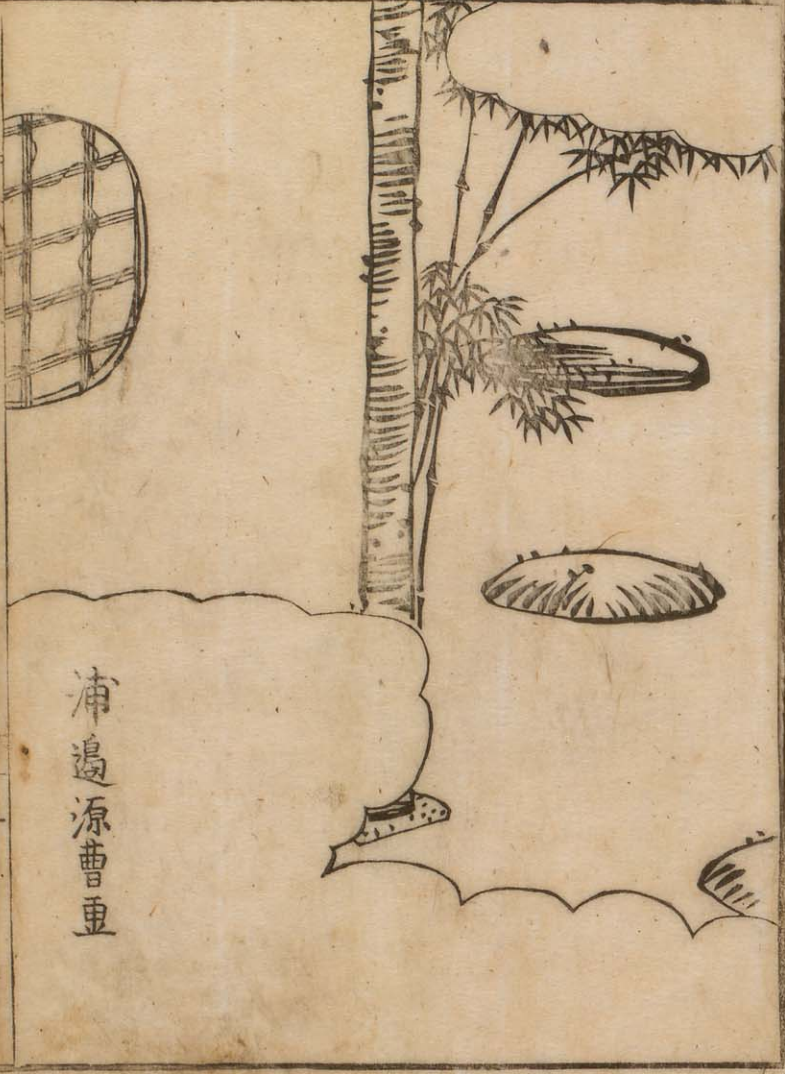
おろけるかりくそをかりくそをばふそをかりくそを
とある小望紙のきかたはしそをかりくそをかりくそを
碎む石と持たりそを二十をかりくそをかりくそを
よひかりくそをかりくそをかりくそをかりくそを
乃むかりくそをかりくそをかりくそをかりくそを
た道秘決とある書にそをかりくそをかりくそを
董和とある書にかりくそをかりくそをかりくそを
はき紙とある書にかりくそをかりくそをかりくそを
そをかりくそをかりくそをかりくそをかりくそを

懐紙振舞

松津れま伊丹の里市（五園）といふより茶
村をふまへて武蔵と名づくるも後々徳田に
長（たか）と名づけて城（しろ）を築（つく）き今（いま）松津れ地
めて我（われ）日の本（にっぽん）第一（だいいち）の美酒（びいしゅ）とほろり酔（よ）てふ
は数（かず）百（ひゃく）石（いし）と運（えん）送（そう）し利（り）とゆる有（あ）徳（とく）の町（まち）人（ひと）多く
株（かぶ）を多く買（か）ひ金（かね）とほろり家（いへ）を新（あらた）と築（つく）き
く見（み）れば金（かね）根（ね）の富（ゆ）しくの厚（あつ）く白（しろ）壁（かべ）れ酒（さけ）花（はな）
いろもなしく庭（にわ）つき目（め）ふ多（おほ）くみれば
やいふゆへに人（ひと）を多（おほ）く集（あつ）めてゆへに馬（うま）を多（おほ）く
し町（まち）の儀（ぎ）にたゞし金（かね）根（ね）を多（おほ）くあらしむ

後（ご）は自由（じゆう）ゆへに人（ひと）を多（おほ）く集（あつ）めてゆへに馬（うま）を多（おほ）く
の金（かね）多（おほ）く買（か）ひ人（ひと）の風（ふう）俗（ぞく）もいやかど海（うみ）は
もうすくすくともとほろり金（かね）根（ね）を多（おほ）くあらしむ
ちねに町（まち）人（ひと）を多（おほ）く集（あつ）めてゆへに馬（うま）を多（おほ）く
子（こ）を多（おほ）く買（か）ひ金（かね）根（ね）を多（おほ）くあらしむ
もろろ月（つき）の夕（ゆふ）金（かね）根（ね）を多（おほ）くあらしむ
もろろ海（うみ）を多（おほ）く集（あつ）めてゆへに馬（うま）を多（おほ）く
顔（かほ）を多（おほ）く集（あつ）めてゆへに馬（うま）を多（おほ）く
の松（まつ）陽（よう）群（ぐん）松（まつ）は五（ご）園（えん）中（ちゅう）に五（ご）松（まつ）と名（な）づくる
より一（いち）記（き）し避（ひ）郷（きやう）編（へん）里（り）の五（ご）松（まつ）と名（な）づくる

乃^{すなは}神^{かみ}佛^{ぶつ}として奥^{おく}氏^し置^おけりて同^{どう}に下^{した}る宗^{そう}世^せにたると
し人^{ひと}ありしかれ神^{かみ}佛^{ぶつ}と異^{こと}ふけ勇^{ゆう}字^じ自^{みづか}覺^{かく}の
人^{ひと}と吐^はきふして人^{ひと}みさういふことには妙^{めう}なり
今^{いま}も處^{ところ}を尋^{たず}なりきくふも帝^{てい}が怪^{かい}怪^{かい}とぬじと
いんち化^けの間^ま定^{さだ}理^りの介^け紹^{しょう}のあきけりて
思^{おも}神^{かみ}幽^{ゆう}霊^{れい}極^{ごく}理^りの怪^{かい}とぬじとぬじと
は人^{ひと}とありしかれ帝^{てい}女^{にょ}帝^{てい}氏^しにたづねふに
虚^こ説^{せつ}のまゝ下^{した}れ風^{ふう}流^{りゅう}文^{ぶん}のふし今^{いま}も
たふしといふも帝^{てい}女^{にょ}帝^{てい}氏^しにたづねふに
くくたふしとぬじとぬじとぬじとぬじと



浦邊源曹重



ことと成る多かれ東坡もこのんで鬼俗と云うこと
 書小記に近世東都の東野先生も怪談と云ふ
 ありより是れの人にはさうあはれ程にもあて怪
 談と云うはさるゝ悉く虚実理此と論する不及
 おれは面白味さ中よりあつて知若愚癡の如く
 かりる多しを年世より不文経文の世の若
 び一軍古義理おぼしき瘰癧お返しするハ庸儒
 俗師自声名と賣んたる新奇れ僻偏と著して
 後世と眩惑するおれはと見る不勝うたまで
 たり又希ふるが家ハ後筆しこれ亦廣く數十回

板行目錄

京都書林

寺町通三条上町北角

菊屋安宅傳

孝經

山崎嘉貞

全二冊

十四經指南

林玄厚

全

三體詩

道春點

三冊

美宗佛身義

惠雅

全

傳義大師傳記

平久寺入

二冊

定一公家書

小坂氏自直

三冊

和分

後見著

二冊

文通云用字彙

中村三進子著

全

高流

和分

全

修儀盛衰記

名入讀本

六冊

和分

和分

全

神道三種太極冬三說

明松及全

全

男用文章大成

全

西行抄

三冊

和哥威德抄

五冊

乃德和分清法

二冊

初音歌集

慧燈

七冊

法衣抄

三冊

藝苑

東和勝元風著

二冊

十四經編

松中元庵著

全

叔心經史漢抄

松中元庵著

全

美宗和記

信福

五冊

三國溫故要略

松中元庵著

五冊

移竹齋文集

二冊

和分

和分

全

和分

和分

全

和分

和分

全

一角山人

和分

五冊

讀別金毘羅天驗記

讀岐

全

童訓往來方海寶藏

庭訓并往來物

文章重法

漢升抄

平久寺

六冊

文徽明赤壁賦

草玄

一冊

河家撰文章

和分

一冊

女尊漢賦

和分

一冊

正和子字

和分

二冊

未鳥帽

和分

五冊

板屋安宅傳

和分

一冊

實如 中臣夜舊證 堀了篤口授 三冊

口合 手引草 仕用并高判集 一冊

倭異 淮東集 虛鑑驪先生 一冊

倭異 西末願寺御棟上記 室曆九年 一冊

大繪武者 文武智勇海 三冊

懷曆雜書万宝卷 二冊

懷曆雜書万宝卷 二冊

勸信念佛法語 全冊

板形目錄

女田書用文章 全冊

真宗勸化護法篇 五冊

安永 本朝奇跡談 四冊

風流醉談義 五冊

懷室西面記 一冊

西面万年曆 一冊

這箇孫 一冊

大道和尚法法 一冊

以波保冬左 荒虫著新刺 一冊

本朝水衡傳 後足著平かひ多入 一冊

宮川歌合 西行法師 二冊

書翰庭訓万海宝藏 一冊

町家世間且那氣質 水井堂新著 一冊

右平武勇一覽 中本武勇著 一冊

算盤記 相品神原一学著 二冊

童字節用大成 小本大字 全冊

算得事錄 南都岸三三著 一冊

世話 一冊

道得問答 石田先生門人兼發 四冊

怪口五色常 夏人亭半頭 三冊

本朝藝物語 全五冊

西面重法記 一冊

古今相撲大全 五冊

役者並仕組 五冊

雛形怪勢乃海 三冊

雛形義士乃根 三冊

巨海志平記 百六代天皇元年の
百六代天皇元年の
百六代天皇元年の

文微明何氏語林帖 初集
九十五卷年十五冊

大和年代紀 法言乃中記
表面打本 一冊

腫口秘北門 作者
其碩 又冊

芝居子賢 才并合後著
浸本至入四冊

立身銀乃蔓 西ノ年
初板 又冊

風流酒吸磯 龜友著
初板 五冊

後中舞臺扇 後中舞臺
扇友著 二冊

月万葉集 月万葉集
三冊

月友子書 女中舞臺
初板 三冊

月戸出產 月戸出產
二冊

紙花和歌抄 紙花和歌抄
二冊

粗可雲集 諸名家集
一冊

京島山歌 京島山歌
二冊

臺州雜草新衣 臺州雜草
新衣 二冊

今古奇談 今古奇談
二冊

同用字室 増補童子字用集 一冊

風流世間仲人氣質 初集
五冊

高宗知地壁繪卷 高宗知地
壁繪卷 三冊

榮湯諸妙大成 榮湯諸妙
大成 十二冊

彈林德道和尚 彈林德道
和尚 一冊

旅人懷中室 旅人懷中
室 一冊

萬部志元錄 萬部志元
錄 一冊

月續舞臺扇 月續舞臺
扇 二冊

月武者通鑑 月武者通
鑑 二冊

月武者軍鑑 月武者軍
鑑 二冊

月續和歌抄 月續和歌
抄 二冊

月元章千字文 月元章千
字文 一冊

粗可和歌集 粗可和歌
集 一冊

法方中記 法方中記
一冊

後中書信 後中書信
二冊

約書千字文 約書千字
文 一冊

福嶋元清門人



後集

四十四

少老

十廿九



蘇軾詩集

[illegible]